

4 道徳教育の充実

各学校では道徳の授業が、地域や保護者に公開されており、道徳の教科化に向けて、道徳教育の充実のための取組がなされ、「道徳を自分の生活に生かそうとしているか。」という設問（右（「アしている」+「イどちらかといえば」の割合）表）の結果に、その成果が表れています。

【指導課関係調査12月より】

	生活にいかそうとしているか	
上益城	H 2 7	H 2 8
小学校	85.0 %	91.0 %
中学校	86.0 %	90.0 %

本県独自の教材「熊本の心」のDVDを積極的に活用し、郷土の歴史や自然について関心のある（郷土を愛する）児童生徒を育みましょう。

- (1) 平成28年度からの「特別の教科 道徳（道徳科）」の実施に向けて
（熊本県教育委員会作成リーフレットより）

下記の5つの提言を参考とし、小学校は平成30年度・中学校は31年度からの道徳科の授業の実施に向けた教育活動の推進をお願いします。

提言1 道徳科の授業

児童生徒が、自己を見つめ、自己の生き方や人間としての生き方について考えを深めるために、多様な指導方法を活用しましょう。

提言2 道徳科の評価

児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすことができる評価活動に努めましょう。

提言3 道徳科における指導体制

校長や教頭、他教職員との協力的な指導などについて工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図りましょう。

提言4 新たな内容項目への対応

「熊本の心」や「私たちの道徳」等を活用して、新たな内容項目に関連する教材を年間指導計画に位置づけ、指導展開を工夫しましょう。

提言5 道徳科における家庭・地域との連携

「熊本の心」を活用した道徳科の授業を地域や保護者に公開したり、道徳の授業に家庭や地域の人々の参加や協力を得たりするなど、家庭や地域との連携を図りましょう。

甲佐町立乙女小学校では、道徳ノートを活用し、継続的に成長の様子を残し、次時の活動に生かされています。

「道徳ノート」の活用

内容項目と対応させて ワークシートを分類・整理

「どんな内容項目について考えたことなのか」が分かるように、ワークシートを内容項目ごとに色分けして分類し、「道徳ノート」に貼り付けています。

蓄積と継続

前年度の「道徳ノート」は、学年が上がっても引き継がれています。これにより子どもたちの心の姿を見ることができるようになりました。心の姿の経緯を残すことで、自己の成長を実感することができると考えています。

日常生活や他教科の学習とのつながりが「見える」

関連する他教科の学習シートやお札の手紙なども貼り付けています。また、感想やメモを書き込んだりすることで、道徳の時間とのつながりが見えるようにしています。

(2) 御船小学校の実践

御船小学校では、「いのち輝き、自他を『つなぐ』道徳教育」を目指して、体験活動を道徳の授業に生かす取組を行われています。

仮説2 体験活動を道徳の授業につなぐ工夫

★「みふねっこの学習過程」

導入	<p>みと おす</p> <p>道徳的価値につなぐ段階 日常生活を見つめ道徳的価値につなぐ工夫 ★写真の活用 ★アンケートの活用 ★体験活動(資料に関わる体験等)</p>
展開	<p>ふか め</p> <p>道徳的価値に迫る段階 問題意識を持たせる発問 ★心に残ったことは、ありませんか。 ★もっと知りたいことは、ありませんか。 道徳的価値に迫る発問(中心発問) ★なぜ〇〇でしょう。 ★あなたならどうしますか。理由や結果も考えよう。 道徳性をより高める発問 ★〇〇には、どんな意味があったのでしょうか。 ★〇〇(道徳的価値)とはどんなことでしょう。</p>
開	<p>あ げ</p> <p>自分を見つめさせる発問 ★みなさんは、〇〇したことがありますか。そのときの気持ちを考えましょう。</p>
終末	<p>つ な</p> <p>道徳的実践意欲を高める段階 道徳的実践意欲を高める工夫 ★GTの活用 ★手紙 ★詩 ★日記 ★わたしたちの道徳</p>

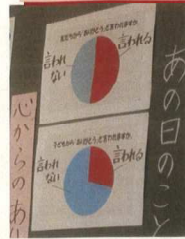
★授業実践例

3学年「あの日のこと」(感謝)

ねらい：自分たちの生活を支えてくれる人々に対し、感謝の気持ちをもって接する心情を育てる。

【みとめ】 道徳的価値につなぐ工夫

みなさんは「ありがとう」を言っていますか。家の人にアンケートをとった結果を見てどう思いますか。



〈意識のすれから学習への意欲が高まる〉

体験



ありがとうを言っているつもりだけどどうしてかな？

【ふかめる①】 道徳的価値に迫る発問

うれしくて大きな声で泣いていたあやさんは、どんな気持ちだったでしょう。

心配してくれて嬉しいという気持ちかな。だって私も友達に大丈夫って言われて嬉しかったから。



【ふかめる②】 道徳性をより高める発問

なぜあやさんにとって、すてきな思い出となったのでしょうか。

みんなが優しく、自分もそんな人になりたいと思ったから。

給食の先生に、ありがとうを言いたいな。

【ねいあげる】 自分を見つめさせる発問

ありがとうを伝えたい人がいますか？

〈一人一人「ハートカード」に書く〉

【つなぐ】 道徳的実践意欲を高める工夫

ゲストティーチャーの話を聞きましょう。

〈GTとつなぐ〉

仕事をしているとき、「ありがとう」って声をかけられて、とっても嬉しい気持ちになったよ。(用務の先生)



★体験を授業につなぐ手立て

○写真の活用

写真の提示は、体験を思い出し、道徳的価値を見つめる場となる。

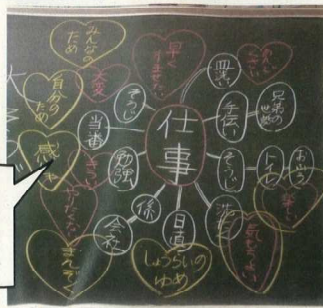
どんな気持ちで行動したか、すぐに振り返ることができる！



○板書の工夫

ウェビング手法を使って、児童の考えや体験を引き出す。

「仕事」についての考えが、道徳の授業の中で深まっている板書



各教科等や体験活動と道徳をつなぐことで、児童が授業の中で登場人物と自分を重ねて考えることができ、道徳的価値を理解させるのに効果的であるという成果が得られています。